

1. 富山県銀行協会の取り組み

(1) 取り組みの現状

- ・小学生を対象に、実際に銀行業務に触れてお金について知る「夏休み銀行探検隊」の企画実施
- ・富山県警本部と連携した特殊詐欺防止活動の実践。JAグループと信組との情報共有協定締結により県内全金融機関が、より高い詐欺対応可能となった。
だまされんちゃ通信や警視庁アプリを配信し、顧客への情宣ツールとして活用。
富山県警本部、財務事務所、日銀、各金融機関による連携協議会を立ち上げ。定期的に情報交換と詐欺対策を推進。
- ・脱炭素アドバイザー事業や煌めく女性リーダー塾等、富山県の方策を会員銀行へ周知徹底

(2) 課題と今後の予定

- ・県内の特殊詐欺被害が過去最高を更新。県警本部、関係機関と連携して防止に注力。

2. 各行の富山県SDGs宣言「当社の取組み」

富山銀行	富山第一銀行	北陸銀行
経営理念である「健全経営を維持しお客さまから信頼されること」、「地域経済の発展とお客さまのご繁栄を通して社会貢献を図ること」、「創造性、自発性を尊重し明るい企業文化を創ること」に基づき、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け取り組んでまいります。	「限りなくクリア（透明）、サウンド（健全）、フェア（公平）」の経営理念のもと、サステナビリティを巡る課題への対応を通じて、持続可能な経済・社会・環境の実現に貢献し、ステークホルダーの皆さまからの期待に応え続ける総合金融サービスグループとして、中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。 ※SDGs宣言を発展的に見直し、新たに公表した「サステナビリティ方針」	企業の持続的成長のために必要とされるESGや、国際連合が提唱するSDGs等の視点を踏まえて、CSR方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当行、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

3. 各行の取り組み（ニュースリリース2025年4月～2026年3月より一部抜粋）

富山銀行	富山第一銀行	北陸銀行
富山大学経済学部における寄付講義（特別講義）実施	学校への金融経済教育実施13件	寄贈型SDGs私募債による学校等への寄付
高岡法科大学における寄付講義（特別講義）実施	ファーストバンク社会福祉基金による寄付	カーボンオフセット型私募債等、環境問題に取り組む事業への支援実施
寄贈型SDGs私募債による市町村への寄付	「SDGs取組支援サービス」の取扱い実施	富山県部活動応援事業（中学校へ物品支援）、学校への教育用品の寄付
福島行員による小学校等での講演・スポーツ教室の実施	「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファウンズ」締結	富山大学における講義実施
富山グレイズ バスケットボール教室開催	中東情勢の緊迫化に伴う相談窓口設置	事業承継・M&Aによる事業存続手伝い
中東情勢の緊迫化に伴う相談窓口設置	オンラインカジノの周知と取引利用制限	中東情勢の緊迫化に伴う相談窓口設置
オーベルジュ橋場開店に際し県・射水市と連携支援		



1. 活動報告

2030 年まで残り 4 年、SDGs をあきらめない
(今こそ経済・環境・社会の統合をみんなで)

【重点取組】

- (1) 「誰一人取り残さない」ために様々な課題を社会へ伝える活動 (アドボカシー)
国際的な基準や客観的なデータからの課題点や市民の現状 (声) を社会へ伝える／
それに基づく提言活動等を行う

例)

- 「PEC とやまの SDGs カフェ」(富山シティエフエム)
- 全国の市民活動団体と連携してまとめた冊子
「SDGs 虎の巻：地域の暮らしと地球をサステナブルにする未来に
向けた実践と指針」(P37~40 にて富山での事例紹介)
<https://www.sdgs-japan.net/product-page/sdgs-toranomaki>
(無料でダウンロードできます)



- (2) 生物多様性をプラスに回復させる活動 (ネイチャーポジティブ)
例) 黒部川流域ネイチャーポジティブ・プロジェクト、富山市有機農業推進事業など

2. 意見・提言

南砺市大規模データセンター設置計画による富山県 SDGs 推進への影響は？
<世界最大規模のデータセンター>

- 膨大な電力消費：3.1GW→年間消費電力量に換算して 約 240 億 kWh/年※
→富山県全体の年間消費量の約 2 倍 約 110 億 kWh/年※ (2023 年時点)
※いずれも規模感の確認のため当団体にて概算したもの
- 広大な開発面積：400MW で 13.1ha→3.1GW (約 8 倍) だと 100ha 規模？ (参
考：富山空港 91.6ha)

→既存の富山県カーボンニュートラル戦略がどうなるのか？

→県としての自然環境、生態系への影響などはどう評価されるのか？ 等
(データセンターは環境アセスメント対象外？)



一市町村の問題でなく、県全体の問題 (県民全体の関心事)



県として積極的に情報を把握し、広く県民に情報開示したり、
制度設計等をしていく必要があるのではないのでしょうか



(法律等がまだ整備されない中で、今後の県内データセンター設置増加にも備えて)
県独自のデータセンター設置ガイドラインを策定してはいかがでしょうか

例) 東京都 (令和 8 年 3 月)

https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/toshiseibi/260331_datacenter-guideline-pdf
(早期からの住民対話の重要性、地域共生や環境配慮等について整理されています)





(公財) 富山県女性財団の取り組み

I 男女共同参画推進のための事業方針

- (1) 男女共同参画推進及び固定的性別役割分担意識とアンコンシャス・バイアスの解消
- (2) 女性の活躍推進及び若い女性に選ばれる社会環境づくり
- (3) DV被害者や生活上の困難を抱えた女性の支援強化
- (4) 男女共同参画意識啓発の推進
- (5) 男女ともに働きやすい職場環境づくり、男性の家事・育児・介護への参画推進

II 令和7年度の事業（取り組み）

区分	事業	
相談	女性・男性の生き方、家族・人間関係、育児・家事や仕事に関する悩み、DV等、多様な相談に応じる。	一般相談（面談・電話） 特別相談（臨床心理士・女性弁護士） 男性向け相談（面談・電話）（男性臨床心理士） チャレンジ支援相談（再就職や起業などの相談）
情報提供	男女共同参画の様々な情報を提供する。	HP、広報誌「サンフォルテだより」（年3回） 専門図書室（男女共同参画展示・巡回文庫・えほん巡回文庫・図書ニュース・レファレンス） パネル貸出（DV防止啓発・アンコンシャス・バイアスパネルなど5種類）
調査研究	啓発資料の提供	「とやまの男女共同参画データ」をHPで更新

サンフォルテ



相談室



パパとつくる 時短！簡単！夏ランチ！



区分	事業		内容
講演会 講習会 研究会	Men'sのためのセミナー	アンコンシャス・バイアスの解消について、男性側から考える。	「パパとつくる 時短！簡単！夏ランチ！」 富山調理製菓専門学校 専門調理師 鈴木敦史氏
	こころ&からだセミナー	女性のウェルビーイングのために、こころとからだの健康を支援する。	「不安がスーッと軽くなる 自律神経セルフメンテナンス」 公認心理士 浅井咲子氏 「OVER40が気をつけたい～更年期のフェムゾーンのケア～」 女性医療クリニックLUNAグループ理事長 横浜市立大学客員教授 関口由紀氏
	わくわく人生セミナー	社会ニーズを捉えたタイムリーな話題に男女共同参画の視点から取り組むための講座を実施する	「その＜男らしさ＞はどこからきたの？～広告で読み解く『できる男』の作られ方～」 ライター 小林美香氏
	サンフォルテみらい塾	国等の動きを踏まえたタイムリーな講演会を実施し啓発につなぐ。	「とらわれない生き方」 画家・文筆家・画家 ヤマザキマリ氏



講演会 講習会 研究会	女性に対する暴力のない社会を実現するための講座	DV等防止啓発講座	「子どもの盗撮～加害者にも被害者にもしないために～」 ひいらぎネット代表 永守すみれ 氏
		教員等のためのDV防止啓発講座	滑川市小中学校養護教諭研修会
		若者のためのデートDV予防啓発出前授業	高校7校、特別支援学校1校、中学校3校



わくわく人生セミナー



こころ&からだセミナー



サンフォルテみらい塾



DV等防止啓発セミナー

区分	事業	内容
人材育成	男女共同参画の視点を持った人材の育成。 男女共同参画推進員などの初心者からリーダー育成までの段階により講座を設定している。	サンフォルテカレッジ基礎・入門編 高岡市、小矢部市で開催
		サンフォルテカレッジ講師派遣型 富山県私学教育研究会生徒指導部会： 「デートDVを防ぐ心の安全教育」 立山科学グループ：「女性役員として伝えたい、私らしい働き方」 ブラザー工業株式会社 常務執行役員 岩垂友見子 氏
		カレッジセミナー 「自分を「後回し」にしてきたあなたへ～女性の人生にある痛みのお話～」 漫画家 瀧波ユカリ 氏
		サンフォルテサポーター事業…施設サポーター、学生サポーターの活用
個人及び団体相互の連携促進	県民が男女共同参画を学ぶとともに、団体やグループの交流の場となるフェスティバルを女性団体と関係機関とで組織する「サンフォルテフェスティバル実行委員会」の企画・運営で開催する。	サンフォルテフェスティバル (2日間) (6/28,29) 【富山県部門功労表彰】【基調講演】【シネマ】【ワークショップ&展示】 【フェムテック紹介コーナー】【高校生による研究発表展示】【サンフォルテ情報発信コーナー】【ウェブ展示】【サンフォルテマルシェ】
		男女共同参画を進める団体やグループを支援し、連携を進める。
女性の就業支援・女性活躍推進	女性の就業支援と職場でのリーダー育成による女性活躍を進める。	働く女性や起業してみたい女性のためのセミナー 1回 PC初心者向け 再就職にすぐ役立つ講座 4回 DV被害者等のための自立支援講座 6回
受託事業	煌めく女性リーダー塾(3コース)	



再就職にすぐ役立つ講座



基調講演



ワークショップ





富山市のSDGs普及展開等に関する取組状況 (令和7年度)

富山市では、平成30年6月に国からSDGs未来都市に選定されて以降、これまで「知る」、「理解する」、「実践する」の3つの区分で、普及の取組を展開してきている。

令和5年度から「より理解を深める」・「実践する」の内容に重点を置き、特に、中小企業や小・中学生、ユース世代向けの取組拡大を図っている。

1 SDGsを「知る」

新聞紙面や専用ウェブサイト等を活用した情報発信

北日本新聞の朝刊や専用ウェブサイトを活用し、富山市の取組みや市内の企業・団体等の取組事例について紹介するとともに、「富山市SDGsサポーター登録制度」の周知を行った。



新聞での取り組み事例紹介



専用ウェブサイト

2 SDGsを「理解する」・「実践する」

(1)富山市版SDGs学習ゲームを活用した普及展開

令和6年度に制作した富山市オリジナル版のSDGs学習ゲームの学校現場での周知及び活用を図るため、市内小・中学校において教職員を対象とした「SDGs公開モデル授業」や、高校や大学において「SDGs特別授業」を実施した。

また、希望する学校・企業等に学習ゲームを貸し出すとともに、学習ゲームのファシリテータの養成や、市職員による学習ゲームを活用した出前講座を実施した。



公開モデル授業の様子



民間企業での活用



富山市版 SDGs 学習ゲームのカード



(2) 中小企業向け SDGs先進企業ミートアップツアー

中小企業のSDGs推進を図るため、富山市SDGsサポーター企業(NES株式会社)が、実践している取組事例の紹介や見学、参加企業の情報交換等を行うミートアップツアーを開催した。



環境や防災面など企業の先進的な取り組みの紹介や社内見学の後、地域との連携をテーマに、参加者同士が交流するワークショップを行った。

(3)「富山市SDGsウィーク」(R8.1.31~2.8)

市民・企業等へのSDGsの普及啓発と、ステークホルダーとの連携の場の創出を目的として、7回目となる「富山市SDGsウィーク(全9日間)」を実施した。

(市主催16事業、富山市 SDGsサポーター(企業等)主催3事業)

●「SDGsユースミーティング」(R8.1.31)



SDGsの課題解決に取り組む高校生や大学生の若者が、各々の取組内容をテーマに話し合った。

●富山市SDGsアクションミーティング(R8.2.1)

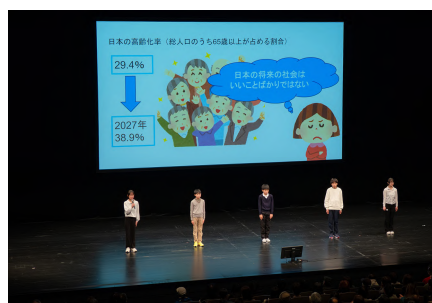


土壌を守りながら自然環境を回復する「環境再生型農業」をテーマに、一人ひとりができることを話し合った。

●「富山市SDGs推進フォーラム」(R8.2.8)



専門家による講演



市内小学生の取組発表



杉浦太陽さんと藤井市長のクロストーク



会場には、楽しみながらSDGsを学ぶことができる「SDGs体験ブース」や、現在策定中の総合計画を紹介する展示コーナーも設置

南砺市 SDGs推進への取り組み

南砺市では「循環型共生社会」「次世代を担う人材育成」「地域課題の解消」を基本方針に位置付け、SDGs推進に向けて以下の事業に取り組んでいる。

桜ヶ池自然共生推進事業（かいぼり）

エコビレッジ構想のモデルエリアである桜ヶ池にて、市民参加型での「かいぼり」を計画小中学校等と連携した教育環境プログラムをあわせて実施することで、市民が自然とふれあい、地域への愛着と環境理解を深める機会を提供し、自然と共生する地域づくりを推進する

「かいぼり」とは

生物を保護・捕獲しながら、一時的に池の水を抜き、池底や堤体を天日干しにすることで貯水機能の改善向上を図る、伝統的なため池管理手法

期待される効果

- ・ 富栄養素の抑制による桜ヶ池の水質改善
- ・ 外来生物の駆除による生態系の維持回復及び生物多様性の保全
- ・ 自然環境保護への意識向上



エコビレッジ部活動事業

市内の中学生及び高校生が取り組む、地域課題の解決や地域資源の循環を意識した実践活動に要する費用の一部を市が支援
自主的かつ積極的な行動を促進し、次世代を担う人材を育成する

令和7年度の主な取組事例

- ・ 伝統絹織物「福野縞復興プロジェクト」
- ・ 県産材を使用した「味噌」「パン」製造
- ・ 古材活用で考える資源循環と空き家問題
- ・ 五箇山観光ボランティア活動
- ・ 夏祭りを盛り上げる「行燈」製作
- ・ 高齢者福祉施設での交流活動



小麦農林10号を用いたパン製造



古材から作品を製作

地域課題解決型市民活動支援事業

地域資源を活用し、地域の活性化や課題解決に取り組む市民団体等に補助金を交付あわせて、中間支援組織と連携し、活動団体に寄り添った伴走支援（各種計画への助言、関連団体との連携構築等）により、市民活動の活性化と持続可能な地域づくりの促進を図る

令和7年度の採択状況

地域課題解決型市民活動支援事業 … 5件

GCF(※1)を活用した地域課題解決型市民活動支援事業 … 1件

※1 ガバメントクラウドファンディング



草むしりにスポーツ要素を融合させた市民参加型の環境保全イベント
特定外来生物『オオキンケイギク』の駆除活動を推進



集落内に残る石積み棚田を、地域資源として活用した地域活性化イベント
地域の魅力を広く発信することで地域関係人口の増加に貢献

かつて、地域住民の憩いの場であった公園の再生活動
生物多様性の視点から地域住民が主体となった環境保全活動を実践



「ひといちばい敏感な子」が安心して学べる学校を
GCFの活用で目標金額を達成



自然共生活動団体連携事業

市内で活動する自然共生団体が、緩やかな関係性を構築しながら情報交換や課題を共有できるワークショップ等の交流機会を創出
団体間の連携強化がもたらす相乗効果により、持続可能な自然共生社会の実現を目指す

開催日	実施内容	目的
7月30日	団体同士の紹介・交流	お互いの活動内容や思い、経験を知り、接点の種を見つける
8月28日	団体連携の可能性検討	活動の負担感を増やさず底上げ、より良くできることを探る
10月8日	次年度以降の構想検討	現状と課題をまとめて、次年度に向けた具体的な収束を図る



グラフィックファシリテーション

2027年開業予定
PlayEarthPark
aremoa

自然共生への関心の高まり
事業者との連携を見据えて
継続した活動につなげる



氷見市のSDGs推進に関する現状報告について



1. ひみSDGsウィーク2025について

地域社会全体におけるSDGsの理解とSDGs達成に向けた機運の醸成を図るために、9月22日～28日の1週間を「ひみSDGsウィーク2025」と位置付け、市全体でSDGs関連イベント及び取組を行った。

<イベント一部> ①イベント名 ②内容 ③実施日時 ④場所 ⑤関連するSDGs17の目標

① きとくとキッズお料理道場
② 市内保育園児を対象とした地元食材を使った料理教室
③ 9/25(木)～9/26(金)
④ 創作工房ひみ
⑤ 2 飢餓をゼロに

① SDGs簡単キットワークショップ 間伐材に色を塗ろう
② 木材を使ったワークショップ
③ 9/23(火・祝日) 10:00～16:00
④ 氷見市海浜植物園
⑤ 15 陸の豊かさを守ろう

① 子育て講座「アウェイ育児友の会」
② 市外・県外出身で氷見市在住のパパ・ママによるおしゃべり会
③ 9/26(金) 10:00～
④ 氷見市地域子育てセンター
⑤ 11 住み続けられるまちづくりを

① 氷見市文化財センター一般公開
② 木造和船などの国の登録有形民俗文化財になっている漁撈用具や昔の氷見の暮らしに必要な農具や生活用具の展示
③ 9/27(土) 9:00～16:00
④ 旧女良小学校
⑤ 14 海の豊かさを守ろう

2. ひみSDGs推進パートナー交流会について

ひみSDGs推進パートナー同士の交流を促進し、新たな連携の取組への足がかりとなる場を提供して、オール氷見でSDGsの達成を目指すために、ひみSDGs推進パートナー交流会を開催した。

- (1) 日時
令和7年9月28日(日) 9時30分～12時
- (2) 場所
氷見市芸術文化館 マルチスペース
- (3) 内容
 - ・参加パートナー同士で取組紹介、意見交換を行うワールドカフェ
 - ・パートナーによる取組紹介展示・ブース出展
 - ・パートナー団体「交響する氷見」によるミニコンサート ほか
- (4) 参加者
ひみSDGs推進パートナー(17団体24名)



<当日プログラム>

開始時間	イベント	内容
10時30分	意見交換会	参加者同士で氷見市の課題について意見を出し合った。
11時	全体シェア	各テーブルで出た意見を全体共有した。
11時20分	交流タイム	自由に席を移動し、興味のある話題について各自話し合った。
11時35分	表彰制度説明	ひみSDGs推進パートナー表彰制度について紹介した。
11時40分	ミニコンサート	交響する氷見によるクロージング ミニコンサートを行った。
11時55分	写真撮影	参加者全員で集合写真を撮影した。



3. 氷見市SDGs貢献型インターンシップについて

氷見市及び実践女子大学が教育を中心とした多様な分野で連携と協力関係を築き、地域の課題に適切に対応し、協働による事業を推進することにより、活力ある地域社会の形成・発展の向上に寄与することを目的としてインターンシップを行った。(令和8年2月8日(日)～15日(日)4名受け入れ)



<活動一部>

- 【文化】 藤箕づくり体験 【海】 漁業文化 交流センター、栽培漁業センター見学
- 【自然】 ひみラボ水族館見学 【中山間地域】 ろんくま見学 【環境】 漂着ごみ拾い

4. ひみSDGs推進パートナー制度について

個人及び企業、団体等と連携して市全体でSDGsを推進するためのパートナー制度をPRし、登録数の増加に取り組んでおり、ひみSDGs推進パートナーの登録を行った企業、団体等に「ひみ里山杉」を使用した登録証を交付している。令和8年3月時点でのパートナー登録数は、個人111名、団体112団体である。今年度から、活動やその成果が顕著なパートナーを表彰するほか、ひみSDGs推進パートナー交流会において生まれたパートナー同士の連携取組のアイデア、計画による連携事業を支援するため、「ひみSDGsパートナー連携取組支援事業」を行う予定である。